

人間社会学部／総合人間社会コース	職名	准教授	氏名	柴田 雅博
------------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1999年九州大学大学院システム情報科学研究科修士課程を修了、2005年同大学大学院同研究科博士後期課程を単位取得退学。2005年博士(工学)取得。財団法人九州システム情報技術研究所に勤務後、九州大学システム情報科学研究科に戻り研究員を勤める。2012年フェリス女学院大学情報センター助手を勤めたのち、2015年本学人間社会学部講師に着任する。

専門は自然言語処理という人間が日常使っている言葉(自然言語)をコンピュータで解析し他の処理に応用する研究である。その中で私は特にWWW上にある膨大なテキストデータを利用し、そこから言語知識を獲得し、英日のフレーズ翻訳知識を収集したり対話処理に応用したりといったことを行っている。そのほか、情報教育、プログラミング教育に関する研究も行っている。

本学では情報学教育を中心として、教育プログラム「データサイエンス・プログラム」に携わっている。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 寺島正博, 石崎龍二, 柴田雅博「保育所・認定こども園におけるICT導入の実績とそれに伴う業務効率の意識」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.31, No.1, pp.57-70, (2022.10).
- ・ 柴田雅博, 増満誠, 中本亮「受講者の視点を踏まえた効果的なオンライン授業の検討」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.31, No.2 (2023.3) .
- ・ 柴田雅博「福岡県立大学人間社会学部における初年次情報リテラシー教育の効果(2023年度)」, 福岡県立大学人間社会学部紀要, Vol.32, No.2 (2024.3) .

② その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 大久保淳子, 森久美子, 柴田雅博, 坂無淳「情報活用能力育成の現状と課題 ―プログラミング教育を視点とした就学前段階からの体系的なカリキュラム編成について―」, 日本乳幼児教育学会第33回大会 (2023.12) .

③ 過去の主要業績

- ・ 柴田雅博, 富浦洋一, 田中省作: 「Web上の語の共起性に基づいたコロケーションの翻訳支援」, 情報処理学会論文誌, Vol.46, No.6, pp.1479-1491, (2005.6).
- ・ 柴田雅博, 富浦洋一, 西口友美: 「雑談自由対話を実現するためのWWW上の文書からの妥当な候補文選択手法」, 人工知能学会論文誌, Vol.24, No.6, pp.507-520, (2009.9).
- ・ M. Shibata, T. Funatsu, Y. Tomiura: “Extraction of Alternative Candidates for Unnatural Adjective-Noun Co-occurrence Construction of English”, Procedia - Social and Behavioral Sciences, Vol.27, pp.32-41, (2011.11).

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 言語処理学会, 日本情報教育学会

6. 担当授業科目

「教養演習」(1単位) 1年・前期, 「情報処理の基礎と演習」(2単位) 1年・前期, 「情報処理応用演習」(1単位) 1年・後期, 「Webデザイン演習」(1単位) 2年・前期, 「情報ネットワーク論」(2単位) 2年・後期, 「情報ネットワーク演習」(1単位) 2年・後期, 「データベース論」(2単位) 2年・後期, 「マルチメディア論」(2単位) 2年・後期, 「グローバル社会論」(2単位) 2年・後期 (オムニバス), 「プログラミング演習」(1単位) 3年・前期, 「情報検索システム論」(2単位) 3年・後期, 「情報と職業」(1単位) 3年・前期 (教職科目)

7. 社会貢献活動

なし

8. 学外講義・講演

筑豊市民大学オープン講座「続・AIは何を考えるのか?」(2025.2).

9. 附属研究所の活動等

令和6年度研究奨励交付金(横断型教育プログラム開発研究)「データサイエンス・プログラムにおける高大接続教育を意識したICT教育の推進」研究分担者